



読者からの質問、疑問に
お答えするコーナーです。

献血について

千葉県医師会副会長

川越一男 医師



Q 献血は高校生くらいからできると聞きました。年齢制限や採血量など教えてください。

A 献血には、全血献血と成分献血があります。全血献血は、血液中の全ての成分を採血します。一方、成分献血は、成分採血装置を使って血小板や血漿といった特定の成分だけを採

献血方法別の採血基準

項目	全血献血		成分献血	
	200ml 全血献血	400ml 全血献血	血漿成分献血	血小板成分献血
1回献血量	200ml	400ml	600ml 以下 (循環血液量の12%以内)	400ml 以下
年齢	16～69歳*	男性:17～69歳* 女性:18～69歳*	18～69歳*	男性:18～69歳* 女性:18～54歳
体重	男性:45kg以上 女性:40kg以上	男女とも50kg以上	男性:45kg以上 女性:40kg以上	
最高血圧	90mmHg 以上			
年間献血回数	男性:6回以内 女性:4回以内	男性:3回以内 女性:2回以内	血小板成分献血1回を2回分に換算して 血漿成分献血と合計で24回以内	
年間総献血	200ml 献血と400ml 献血を合わせて 男性:1200ml 以内 女性:800ml 以内		—	—

献血にご協力いただける方の安全を第一として、国が定めた基準などにより、医師が総合的に判断してお願いしています。
※65歳以上の方の献血については、献血いただく方の健康を考慮し、60～64歳の間に献血経験がある方に限ります。
日本赤十字社HP「採血基準」より一部改変

血します。(体内で回復に時間のかかる赤血球は体内に戻す方法です。) 詳しくは、次の表を参考にしてください。

献血をご遠慮いただく場合(原則)

- ▼ 当日の体調不良・服薬中・発熱等の方
- ▼ 特定の病気(心臓病・悪性腫瘍・ぜんそく等)にかかったことのある方
- ▼ 6か月以内にピアスの穴をあけた方・いれずみを入れた方
- ▼ 妊娠中・授乳中の方
- ▼ 一定期間内に予防接種を受けた方
- ▼ 海外渡航された方(外国から帰国された場合は、渡航先や滞在期間によって、それぞれできない期間が決まっているので正しい申告をしてください。)

日本赤十字社HP「献血をご遠慮いただく場合」より一部改変

献血のお願い

献血をした事によって「輸血」という人間の命を守る不可欠な医療行為が可能になり、多くの命が救われます。献血協力者数が減少している今、一人でも多くの方の協力が必要です。ミレニアム読者の皆さま、ぜひお考えいただけましたら幸いです。